

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【公表番号】特表 2020-536435 (P2020-536435A)

【公表日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2020-050

【出願番号】特願 2020-518605 (P2020-518605)

【国際特許分類】

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

H 0 4 B 7/0417 (2017.01)

H 0 4 B 7/0456 (2017.01)

【F I】

H 0 4 L 27/26 1 1 3

H 0 4 B 7/0417 1 3 0

H 0 4 B 7/0456 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 30 日 (2021.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サポートされるランクに少なくとも部分的に基づいてチャネル状態情報 (C S I) 報告のためのペイロードサイズを決定することと、

前記決定されたペイロードサイズに基づいて前記 C S I 報告のためのパケット長を計算することと、

コーディングされたパケットを生成するために、前記ペイロードサイズおよび前記計算されたパケット長に基づいて、選択された C S I リソースインデックス (C R I) について前記 C S I を符号化することと
を備える、ワイヤレス通信のための方法。

【請求項 2】

前記 C S I 報告のための前記ペイロードサイズが、前記選択された C R I についての最大 C S I ビット数 (maximum number of CSI bits) に基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記最大 C S I ビット数が、プリコーディング行列インジケータ (P M I) の i_1 および i_2 部分についての P M I ビットの合計、ならびにチャネル品質インジケータ (C Q I) ビットの合計として決定される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記選択された C R I についての前記最大 C S I ビット数がルックアップテーブル (lookup table) から得られる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記符号化することが、前記選択された C R I にかかわらず前記パケット長が同じであることを確実にするためにパディングビットを含めることを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記符号化することが、1 つの C R I のみが考慮される場合に C R I フィールドを省略

することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記符号化することが、前記選択された C R I についての前記サポートされるランクが 1 である場合にランクインジケータ (R I) フィールドを省略することを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記符号化することが、少なくともポーラ符号について、前記コーディングされたパケット中の C S I ビットを情報ビット位置に昇順でマッピングすることを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

サポートされるランクに少なくとも部分的に基づいてチャネル状態情報 (C S I) 報告のためのペイロードサイズを決定するための手段と、

前記決定されたペイロードサイズに基づいて前記 C S I 報告のためのパケット長を計算するための手段と、

コーディングされたパケットを生成するために、前記ペイロードサイズおよび前記計算されたパケット長に基づいて、選択された C S I リソースインデックス (C R I) について前記 C S I を符号化するための手段と

を備える、ワイヤレス通信のための装置。

【請求項 10】

前記 C S I 報告のための前記ペイロードサイズが、前記選択された C R I についての最大 C S I ビット数に基づく、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記最大 C S I ビット数が、プリコーディング行列インジケータ (P M I) の i 1 および i 2 部分についての P M I ビットの合計、ならびにチャネル品質インジケータ (C Q I) ビットの合計として決定される、請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記選択された C R I についての前記最大 C S I ビット数がルックアップテーブルから得られる、請求項 10 に記載の装置。

【請求項 13】

前記符号化するための手段が、前記選択された C R I にかかわらず前記パケット長が同じであることを確実にするためにパディングビットを含めるための手段を備える、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 14】

前記符号化するための手段が、1つの C R I のみが考慮される場合に C R I フィールドを省略するための手段を備える、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 15】

前記符号化するための手段が、前記選択された C R I についての前記サポートされるランクが 1 である場合にランクインジケータ (R I) フィールドを省略するための手段を備える、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 16】

前記符号化するための手段が、少なくともポーラ符号について、前記コーディングされたパケット中の C S I ビットを情報ビット位置に昇順でマッピングするための手段を備える、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 17】

サポートされるランクに少なくとも部分的に基づいてチャネル状態情報 (C S I) 報告のためのペイロードサイズを決定することと、

前記決定されたペイロードサイズに基づいて前記 C S I 報告のためのパケット長を計算することと、

コーディングされたパケットを生成するために、前記ペイロードサイズおよび前記計算されたパケット長に基づいて、選択された C S I リソースインデックス (C R I) につい

て前記 C S I を符号化することと
を行うための命令が記憶されたコンピュータ可読媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 3 1】

[0103] 特許請求の範囲は、上記で示された厳密な構成および構成要素に限定されないことを理解されたい。上記で説明された方法および装置の構成、動作ならびに詳細において、特許請求の範囲の範囲から逸脱することなく、様々な改変、変更および変形が行われ得る。

以下に、本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

〔C 1〕

サポートされるランクに少なくとも部分的に基づいてチャネル状態情報（C S I）報告のためのペイロードサイズを決定することと、

前記決定されたペイロードサイズに基づいて前記 C S I 報告のためのパケット長を計算することと、

コーディングされたパケットを生成するために、前記ペイロードサイズおよび前記計算されたパケット長に基づいて、選択された C S I リソースインデックス（C R I）について前記 C S I を符号化することと

を備える、ワイヤレス通信のための方法。

〔C 2〕

前記 C S I 報告のための前記ペイロードサイズが、前記選択された C R I についての最大 C S I ビット数（maximum number of CSI bits）に基づく、C 1 に記載の方法。

〔C 3〕

前記最大 C S I ビット数が、プリコーディング行列インジケータ（P M I）の i 1 および i 2 部分についての P M I ビットの合計、ならびにチャネル品質インジケータ（C Q I）ビットの合計として決定される、C 2 に記載の方法。

〔C 4〕

前記選択された C R I についての前記最大 C S I ビット数がルックアップテーブル（lookup table）から得られる、C 2 に記載の方法。

〔C 5〕

前記符号化することが、前記選択された C R I にかかわらず前記パケット長が同じであることを確実にするためにパディングビットを含めることを備える、C 1 に記載の方法。

〔C 6〕

前記符号化することが、1 つの C R I のみが考慮される場合に C R I フィールドを省略することを備える、C 1 に記載の方法。

〔C 7〕

前記符号化することが、前記選択された C R I についての前記サポートされるランクが 1 である場合にランクインジケータ（R I）フィールドを省略することを備える、C 1 に記載の方法。

〔C 8〕

前記符号化することが、少なくともポーラ符号について、前記コーディングされたパケット中の C S I ビットを情報ビット位置に昇順でマッピングすることを備える、C 1 に記載の方法。

〔C 9〕

サポートされるランクに少なくとも部分的に基づいてチャネル状態情報（C S I）報告のためのペイロードサイズを決定するための手段と、

前記決定されたペイロードサイズに基づいて前記 C S I 報告のためのパケット長を計算

するための手段と、

コーディングされたパケットを生成するために、前記ペイロードサイズおよび前記計算されたパケット長に基づいて、選択されたC S Iリソースインデックス（C R I）について前記C S Iを符号化するための手段と
を備える、ワイヤレス通信のための装置。

〔C 1 0〕

前記C S I報告のための前記ペイロードサイズが、前記選択されたC R Iについての最大C S Iビット数に基づく、C 9に記載の装置。

〔C 1 1〕

前記最大C S Iビット数が、プリコーディング行列インジケータ（P M I）のi 1およびi 2部分についてのP M Iビットの合計、ならびにチャネル品質インジケータ（C Q I）ビットの合計として決定される、C 1 0に記載の装置。

〔C 1 2〕

前記選択されたC R Iについての前記最大C S Iビット数がルックアップテーブルから得られる、C 1 0に記載の装置。

〔C 1 3〕

前記符号化するための手段が、前記選択されたC R Iにかかわらず前記パケット長が同じであることを確実にするためにパディングビットを含めるための手段を備える、C 9に記載の装置。

〔C 1 4〕

前記符号化するための手段が、1つのC R Iのみが考慮される場合にC R Iフィールドを省略するための手段を備える、C 9に記載の装置。

〔C 1 5〕

前記符号化するための手段が、前記選択されたC R Iについての前記サポートされるランクが1である場合にランクインジケータ（R I）フィールドを省略するための手段を備える、C 9に記載の装置。

〔C 1 6〕

前記符号化するための手段が、少なくともポーラ符号について、前記コーディングされたパケット中のC S Iビットを情報ビット位置に昇順でマッピングするための手段を備える、C 9に記載の装置。

〔C 1 7〕

サポートされるランクに少なくとも部分的に基づいてチャネル状態情報（C S I）報告のためのペイロードサイズを決定することと、前記決定されたペイロードサイズに基づいて前記C S I報告のためのパケット長を計算することと、コーディングされたパケットを生成するために、前記ペイロードサイズおよび前記計算されたパケット長に基づいて、選択されたC S Iリソースインデックス（C R I）について前記C S Iを符号化することとを行うように構成された少なくとも1つのプロセッサと、

前記コーディングされたパケットを送信するように構成された送信機と
を備える、ワイヤレス通信のための装置。

〔C 1 8〕

前記C S I報告のための前記ペイロードサイズが、前記選択されたC R Iについての最大C S Iビット数に基づく、C 1 7に記載の装置。

〔C 1 9〕

前記最大C S Iビット数が、プリコーディング行列インジケータ（P M I）のi 1およびi 2部分についてのP M Iビットの合計、ならびにチャネル品質インジケータ（C Q I）ビットの合計として決定される、C 1 8に記載の装置。

〔C 2 0〕

前記選択されたC R Iについての前記最大C S Iビット数がルックアップテーブルから得られる、C 1 8に記載の装置。

〔C 2 1〕

前記符号化することが、前記選択されたC R Iにかかわらず前記パケット長が同じであることを確実にするためにパディングビットを含めることを備える、C 1 7に記載の装置。

[C 2 2]

前記符号化することが、1つのC R Iのみが考慮される場合にC R Iフィールドを省略することを備える、C 1 7に記載の装置。

[C 2 3]

前記符号化することが、前記選択されたC R Iについての前記サポートされるランクが1である場合にランクインジケータ(R I)フィールドを省略することを備える、C 1 7に記載の装置。

[C 2 4]

前記符号化することが、少なくともポーラ符号について、前記コーディングされたパケット中のC S Iビットを情報ビット位置に昇順でマッピングすることを備える、C 1 7に記載の装置。

[C 2 5]

サポートされるランクに少なくとも部分的に基づいてチャネル状態情報(C S I)報告のためのペイロードサイズを決定することと、

前記決定されたペイロードサイズに基づいて前記C S I報告のためのパケット長を計算することと、

コーディングされたパケットを生成するために、前記ペイロードサイズおよび前記計算されたパケット長に基づいて、選択されたC S Iリソースインデックス(C R I)について前記C S Iを符号化することと
を行うための命令が記憶されたコンピュータ可読媒体。